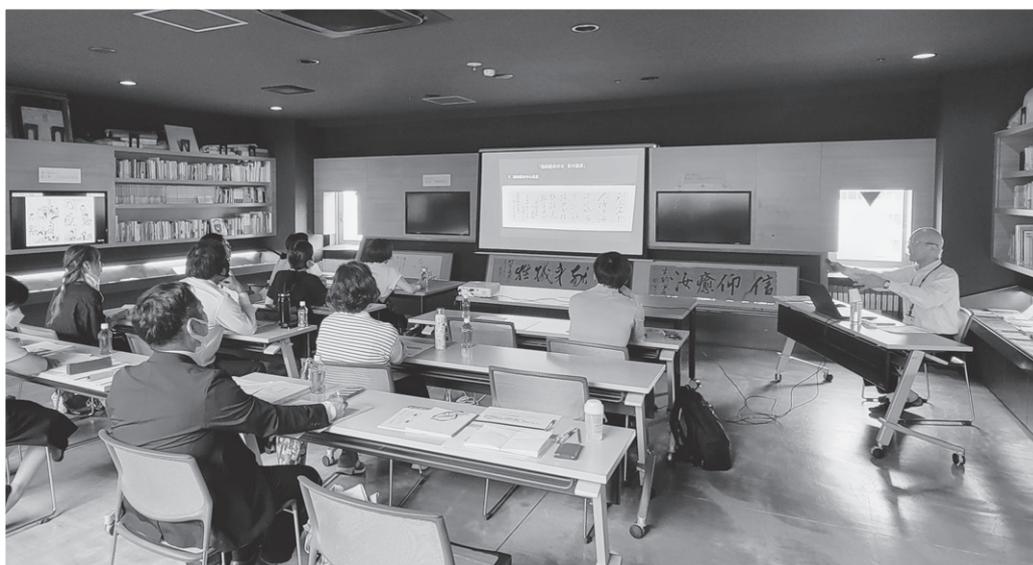




兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2023 10



田中 重至 氏

9月12日、「第2回 組合員の参加を考える研究会」を開催しました。社会福祉法人イエス団 賀川記念館に集合し、参事の田中 重至氏から“賀川豊彦の思想と実践”と題して講義を聴き、協同組合の目的・役割について3つの班に分かれて話し合いました。





コープ自然派事業連合
理事長

岸 健二
(きし・けんじ)

オーガニック、農福連携で 地域社会の未来をひらく

コロナ前の2019年は、慢性的な人手不足で、生協業界においても「全国で約20000人の配送員が足りない」と言われ、拡大スタッフが代配に取られ、拡大業務に集中できないことが、生協の宅配事業の停滞の原因となっていました。

それまで宅配事業の黒字が、店舗事業の赤字を補ってききましたが、宅配事業の停滞により生協の経営危機が表面化することになります。しかし、コロナ襲来により経営危機は一時的に収まったように見えたことが、コロナの収束により問題が再燃しつつあります。そのうえに、物流の「2024年問題」が迫っています。さらに人手不足が深刻化し、巣ごもり需要の減少は、生協の宅配事業の停滞を確実に招きます。それに備え、宅配事業のイノベーションが必要です。

コープ自然派は、次世代が中心となり、新しい中期ビジョン「PAF2030」を策定し、2030年までに「組合員35万人・供給高500億円」をめざし、始動しています。その基本ビジョンは、コープ自然派から国産オーガニックを拡げ、日本のオーガ

ニック市場をつくり、最終的には「誰もが有機農産物を食べることができる社会」を目標とします。

日本の有機農業の取組面積は全体の0.6%、また市場規模は2000億円程度と、先進各国と比較からすると桁が1つ少ない状況です。日本オーガニックの最大の課題は、国産有機穀物原料の確保とその加工品開発です。そこで、今年4月に、日本有機加工食品コンソーシアムを、農水省の協力のもと立ち上げました。生協の枠を越え、一般企業にも呼びかけ、現在100社近くに参加いただいています。

さらに今年5月に社会福祉法人「コープ自然派ともに」(徳島県板野町)を、設立しました。現在、日本の農福連携の現場は、有機農業ができて、ケアもできるという人材が不足し、その人材育成が急務となっています。新しい農福連携を実現するために、有機農業の栽培技術を習得するための有機の学校と就労支援の現場が一体となった福祉施設をつくりたいと思います。そして有機農業による農福連携を起点に、誰もが集える共生空間をつくり、安心して暮らせる地域社会をめざしています。

CONTENTS

- | | |
|--|-------------------------|
| 2. 想点 | 5. 「赤い羽根共同募金運動」ご案内 |
| 3. 第34回近畿地区生協・行政合同会議 報告／第26回「監事研修会」のご案内 | 6. 協同組合のかけ橋 |
| 4. 単協通信 阪神医療生協／ピースアクション2023「ヒロシマ平和訪問」報告(第2弾) | 7. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓 |
| | 8. 生協大会 ご案内／県連行事予定／編集後記 |

第34回 近畿地区生協・行政合同会議

8月23日、「第34回近畿地区生協・行政合同会議」が京都烏丸ホテルで開催されました。

この会議は、近畿2府4県と福井県を加えた7府県の生協連合会で構成する「近畿地区生協府県連協議会」主催で毎年開催しています。

34回目となる今回は、日本生協連や府県生協連の担当者と、厚生労働省や近畿地区の行政担当者を交え、総勢36名が出席しました。

今年は「つながる力で安心して暮らし続けられる地域社会づくりをめざして」をテーマに、各府県の報告や厚生労働省、日本生協連の報告、摂南大学農学部教授 北川 太一 氏による基調講演「持続可能な地域社会づくりと協同組合の役割～協同の力で食、農、地域をつなぐ～」がありました。地域共生社会の実現に取り組む事例を共有し、これからの課題を再認識する機会となりました。



事例共有（コープしが）



実開催にて総勢36名が出席しました

兵庫県・兵庫県生協連共催 第26回「監事研修会」のご案内

生協の監事のみならず、監事スタッフを対象にハイブリッド形式（会場への参加とオンライン参加（Zoom）の併用）による研修会を実施いたします。

1. 日 時 11月7日(火) 13時30分～16時30分
2. 会 場 兵庫県民会館10階 1001号室（神戸市中央区下山手通4-16-3）
または、オンライン（Zoom）
3. 定 員 30人（会場・申し込み先着順）
4. 対 象 会員生協の監事、ならびに監事スタッフ
5. 内 容 (1)年間時系列による監事監査のポイント
日本生活協同組合連合会 渉外広報本部
法務部 井藤 康治 氏
(2)生協の指導検査を実施して
兵庫県県民生活部県民躍動課消費政策班
主査 兼田 翔一郎 氏
(3)質疑応答

お申込み・お問い合わせは

兵庫県生活協同組合連合会 TEL 078-391-8634 [10月24日 締切]

「健康まつり」

地域活動サポートセンター 西出 瞳

2023年8月6日に阪神医療生協が法人全体をあげて組合員主体の運営で「地域との協働」を目的とした健康まつりを行いました。

組合員理事が務める実行委員長を中心に全支部合同の実行委員会、わくわく！健康まつりミーティングを3月から毎月1回、計6回、延べ352名が参加する会議を開催。最初に、普段より健康づくりを行っている私達の健康の秘訣を地域に伝えようと話し合ったところ92個の秘訣があり、それを伝える取り組みを決めました。各支部で担当

ブースを分担し、多くの組合員の意見、工夫、想いがつながっていきました。

数年前より地域や学校との協働を進めており、今回は尼崎市総合政策局小田地域課と共催。町会や小学校など尼崎市内に広く宣伝することができ、市内の高校3校、地域団体6団体、地元飲食店7店舗が参加する



地域と協働する場にもなりました。

当日は、職員に広く参加を募り、職員147名と地域組合員110名が受付、案内、健康チェックなど各ブースを運営、1200人を超える方にご来場いただき、会場は活気と笑顔にあふれていました。主人公を組合員に、職員との協働、地域との協働を今後も大切に、組合員で良かった、尼崎に阪神医療生協があつて良かったを旨指していく、大きな一歩になりました。

ピースアクション2023

ヒロシマ平和訪問 報告その2

参加者

◆コープこうべ	小池 薫	◆コープこうべ	賛田 祥有
◆コープこうべ	中村 直也	◆コープこうべ	井野 健太郎
◆コープこうべユニオン	中嶋 亜衣	◆コープ自然派兵庫	塩見 麻子
◆コープ自然派兵庫	大西 航生	◆兵庫労働共済生協	濱 由征
◆事務局	江見 淳	吉本 晴子	

多様な生協の職員とともに、戦争の現場、傷跡に直接触れることで、ピースアクションをおして、今後、平和について感じあい話し合う際の考える基となると思いました。世代が変わっていくことを前提に、埋もれている戦跡、戦争の記憶を掘り起こし次の世代へ伝える努力をつづけることは、私たち協同組合の重要な役割だと感じました。



今回の訪問で、現地にてお世話になった
正木 満章氏 (広島市南区社会福祉協議会) 右側と
森島 哲司氏 (生協ひろしまグループ コープサービス株式会社) 中央

「助け合い 広がる つながる 赤い羽根」



10月1日から第77回赤い羽根共同募金運動が始まりました。お寄せいただいた寄付金は、兵庫県内の地域福祉活動の推進に役立てられます。

また、寄付金の一部は、大規模災害発生時におけるボランティア活動を支援するために活用されます。

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、福祉サービスが行き届かない制度の狭間にある課題へのニーズが年々高まっており、共同募金の役割はより重要になっています。

今年度も、あたたかいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

運動実施期間：10月1日～3月31日



「ふるサボ募金」QR

ネットでも募金できます

共同募金はこんなところに役立てられています



障害者支援施設 みどり荘（相生市）

赤い羽根共同募金の配分を受け、利用者が自由に移動できる人工芝の屋外遊戯場を設置させていただきました。コロナ禍で外出が制限されていましたが、遊戯場で施設利用者が笑顔でレクリエーションや日光浴をしているのを見て、職員・利用者家族一同大変ありがたく喜んでいきます。



ふれあい・いきいきサロンを応援！（丹波篠山市）

高齢者が気軽に集うことで、孤立感の解消と心身機能の維持向上につながるサロン活動の運営費の一部を、市内の自治会・まちづくり協議会等を対象に助成させていただきました。ありがとうございました。



子育て活動の支援に



障害者支援の活動に



地域交流や多世代交流の活動に



災害発生時のボランティア活動の支援に



社会福祉法人 兵庫県共同募金会

〒651-0062 神戸市中央区坂口通2-1-1 兵庫県福祉センター5階

TEL 078-242-4624 FAX 078-242-4625

ホームページ <http://www.akaihane-hyogo.or.jp/>

協同組合のかけ橋

JF 兵庫漁連 SEAT-CLUB

今年も開催! 2023 年マリンスクール

コープこうべ・JF 神戸市・JF 兵庫漁連による協同組合の連携活動として毎年実施しているマリンスクール（2コース）が今年も開催され、参加した親子連れ（約111人）は楽しく漁業や県内産水産物について学びました。

第41回となる JF 神戸市コース（7月27～28日）では「せり市」を見学したり、「魚のつかみ取り」、「ヒラメ稚魚の放流」、「タコの塩もみ」などを体験したほか、兵庫の漁業と環境のつながりを学習しました。また、稚魚の放流では、神戸市立栽培漁業センターの協力で魚を増やすことの大切さを学びました。

一方、第13回目となる JF 兵庫漁連 SEAT-CLUB コース（7月29日・7月30日）では「干しダコ作り」や「アジの三枚おろし」、「チリメンモンスター探し」、「兵庫の漁業と環境の学習」に挑戦しました。みなさん、普段あまり魚にふれる機会がないのか、どの内容も親子で一緒に目を輝かせて取り組んでいました。

どちらのコースも、大盛況のうちに終了し、とても楽しんでもらえたようです。

JF 兵庫漁連では、このマリンスクールを通して、漁業や水産物をより広く身近に感じてもらえるよう、今後とも取り組んでいきたいと考えています。



兵庫の漁業と環境についての学習



セリの見学



干しダコづくり



魚のさばき方実習

JA

JA あかし

高品質で新鮮なキュウリを 消費者に届ける

明石市の水田耕平さんは、テレビで農業経験が無い芸能人が農業に取り組み、収穫した農産物を美味しく食べる様子を見て、「農業に挑戦したい」と思い、10年前に就農しました。

キュウリはストレスや環境の変化に敏感で、肥料・水分が不足すると品質が落ち、形が曲がって商品になりません。そのため、水田さんはキュウリ栽培では珍しい、土の中に通したチューブから肥料や水分を自動で供給するシステムをハウス内に設備しています。また、ハウス内の温度や湿度は、天気や気温に大きく影響を受けるため、毎日こまめに確認し、適温に調整しています。さらに、カビや虫の発生等の異変にいち早く気づき、被害を最小限に防ぐために、毎日葉を一枚ずつ目視で確認しています。

JA あかし経済課 係長 兼フレッシュ・モア店長の政井広大さんは、「水田さんが栽培するキュウリは、まっすぐで食感が良いと直売所利用者からも人気を集めています」と話します。

これらの取組みによって栽培した高品質でまっすぐなキュウリは、通常の収穫時期より2カ月早い4月から収穫し始め、収穫適期を調整し、欠品がないよう、JA 直売所に出荷しています。水田さんは、「今後も徹底した管理の元、高品質で新鮮なキュウリを栽培したい」と意気込みます。





～「美人冷蔵庫」って? 「エシカルフード」って?～ 「台所から考えよう! エシカルな暮らし」 参加者募集 (オンラインでも会場でも視聴可能!)

「美人冷蔵庫」ってどんな冷蔵庫? 「エシカルフード」ってどんな食べ物? 人気の専門家から、無理なく続けられる地球にやさしい暮らし方のヒントを学び、豊かな未来の実現について考えてみませんか?

オンライン (Zoom ウェビナー) でご自宅から期間中いつでもご視聴いただけます。会場でのライブ配信のご視聴も可能です。お気軽にお申し込みください。

1回目 「～台所から社会を変える!?～ 『美人冷蔵庫』 のすすめ」



講師: 食品ロス削減アドバイザー・冷蔵庫収納家 **福田かずみ氏**

日時: 令和5年10月24日(火) 14時00分～15時30分

※見逃し配信 10月24日(火) 17時～10月29日(日) 24時

2回目 「～未来を変える一歩～ SDGs 時代のエシカルフードとは」



講師: 農畜産物流通コンサルタント&農と食のジャーナリスト

新渡戸文化短期大学 客員教授 **山本 謙治氏**

日時: 令和5年10月27日(金) 14時00分～15時00分

※見逃し配信 10月27日(金) 17時～10月29日(日) 24時

- ◎対象: 兵庫県在住・在勤・在学の方 (参加無料)
- ◎募集人数: 両日とも先着受付 (オンライン参加200名、会場参加30名)
- ◎申込方法: (オンライン参加)
(会場参加) 電話でお申し込み → **078-302-4001** (平日10時～17時)
※定員になり次第、締め切らせていただきます
- ◎参加費: 無料

1回目 申込サイト QRコード



2回目 申込サイト QRコード



【問い合わせ先】〒650-0046 神戸市中央区港島中町4-2

兵庫県立消費生活総合センター 消費生活情報プラザ 電話: **078-302-4001**

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

馴染みのお店というのが私にはありまして。その中の一軒に焼き魚定食のお店があります。通い始めて10年ほどになるのでしょうか。とうとう閉店してしまいました。いつの間にか年月が過ぎ、それぞれ年を重ね、潮目が変わっていたのでしょうか。

さて、靈感商法等のお話をしたいと思います。「先祖を供養しないと、病気が治らないですよ」「寄附をすれば地獄から逃れられますよ」このように不安をあおられて、高額な寄附をしたり、商品を購入したりしてしまった結果、家族が困窮し、崩壊してしまう事態が発生しています。このような事態は、安倍元首相銃撃事件によって注目されました。実際の被害は、とても文字では表すことのできない悲惨さや無念が押し詰まっています。

不当な寄附勧誘を防止し、被害からの救済や再発を防ぐために新しい法律が制定され、令和5年6月1日に施行されました。ご紹介したいと思います。「法人等による寄附の不当な勧誘の防止等に関する法律」と言います。不当寄附勧誘防止法と呼ばれますね。この法律は寄附行為を行う法人への規制と不当な勧誘によって寄附した人やその家族の救済の2つが軸となっています。内容は次回へ続けようと思います。(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)



ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE

締め切り

10/17

※期限延長しました!

2023年度

「兵庫県生協大会」のご案内

兵庫県内の生協の皆さまが集い、生協運動に貢献された役職員を表彰し、生協の発展を誓う場として今年度も生協大会を開催します。

記念講演は、兵庫県内でのローカルSDGsのあり方を考える入口として「風と水と土と ひょうごテロワール」を連載されている神戸新聞社の辻本一好さんに兵庫県の魅力についてお話しいただきます。ぜひご参加下さい。

◆と き：2023年10月26日(木) 13:00~16:00

◆と ころ：兵庫県民会館9階 けんみんホール

◆プログラム：第1部 記念式典 生協功労者表彰
第2部 記念講演



「食べて呑んで資源が環(めぐ)る
~ひょうごからつくる新しい地域デザイン~」

講師 辻本 一好 氏

神戸新聞社経営企画部
専任部長・編集委員

◆定 員：200人 (応募多数の場合は抽選)

*参加者には「入場整理券」を事前にお渡しします。
当日、会場受付にご提出ください。

*諸般の事情により、やむを得ず中止、または内容を変更する場合があります。

◆入 場 料：無料

◆主 催：兵庫県生活協同組合連合会

◆お申し込み・お問い合わせ
：兵庫県生活協同組合連合会まで

◆申 込 締 切：10月17日(火)



LOCAL
SDGs

あなたが選ぶと
資源が環る。



編集後記

すっかり秋の空と雲になり、ようやく朝晩は涼しくなりましたね。私はこの時期は暑かった夏がやっと終わるといふ気持ちより今年もあと三か月という感情の方が強く、一年の振り返りをしていきますが毎年、出ていないことの反省と焦りばかりです。皆さんは新年の抱負や目標を実行できていますか? ゴールに向けてのコツをぜひ教えてください!

季節の変化を表す「二十四節気」、10月は寒露(かんろ)や霜降(そうこう)があります。秋を通り越して寒さも感じますが、旬の食べ物も豊富で日本の美しい四季を感じる10月、皆さまどうか清秋、爽秋を思う存分楽しんでお過ごしください。《吉本》

県連行事予定

- 10月1日(日) うみかぜ音楽祭×健チャレ
- 10月2日(月) MEETS (兵庫県立 舞子公園)
- 10月3日(火) 第3回理事会 (県民会館 鶴)
- 10月6日(金) 兵庫JCC「虹の仲間づくりカレッジ」 (県民会館901)
- 10月17日(火) 第2回監事会「上期監査」 (県民会館 兵協連事務所)
- 10月26日(木) 2023年度兵庫県生協大会 (県民会館9階 けんみんホール)

